

第1回 臨床統計部会議事録

日時：2009年7月12日（日） 9時30分～11時00分

場所：麻布大学 8304会議室

出席者（順不同）：小林哲也、辻本元、高橋雅、松村精、入江充洋、井関敦公、鷲塚章、

敬称略（合計7名）

委任者（順不同）：南毅生、三宅龍二、敬称略（合計2名）

議長：小林哲也（臨床研究部会 部会長）

書記：鷲塚章

下記のとおりご報告申し上げます。

1. 報告事項

(ア) 東京慈恵医科大学松島雅人先生に臨床研究部会外部アドバイザーへの就任を依頼し、ご承諾頂いたことを報告。

2. 審議事項

(ア) 副部会長の任命：小林部会長からの依頼で辻本元先生に決定した。

(イ) 『臨床統計部会』から『臨床研究部会』への改名を依頼した。

(ウ) 当部会の理念および基本方針の概要を検討した（次項参照）

(エ) その他

- 日本獣医がん研究会で実施されていた『乳腺がんの前向き研究』を当部会が引き継ぐ。
- 臨床研究に対する意識向上のため、部会員が少なくとも1回は臨床研究を企画・実践する。
- 全国レベルの疫学調査あるいは臨床研究を実践する際、当部会員は、地方でのデータ収集の窓口となること。
- 本会における臨床研究発表会で、優秀発表者に対しアワードを検討。また、最優秀賞受賞者を米国獣医がん研究会で発表する機会を与えることを検討。審査員は原則的に共同研究を除く当部会委員とすることを検討。

3. その他

4. 次回会議開催予定

(ア) 日時：2009年1月23日（土）あるいは24日（日） 時間および場所は未定。

(イ) 出席予定者：日本獣医がん学会臨床研究部会部会員

日本獣医がん研究会 臨床研究部会の理念と基本方針

理念

『獣医臨床腫瘍学に関する臨床研究を介して、新しいエビデンスを日本から創造し、世界の獣医界および社会に貢献すること』

基本方針

1. 教育活動

- 獣医臨床研究を理解するために必要な疫学・統計学などに関する教育活動を通じ、学会の発展に貢献する

2. 研究活動

- 獣医臨床腫瘍学に関する疫学あるいは臨床研究の企画（および企画支援）実践、解析（および解析支援）学会発表、論文作製を推進すること
- 日本獣医がん学会にて臨床研究発表会を年1回開催すること
- 学会や企業など、外部からの委託研究を受託する際の日本獣医がん学会としての窓口となること

以上